

ダイワ米国 バイバック・ファンド (為替ヘッジあり/為替ヘッジなし)

運用報告書(全体版)

第13期

(決算日 2020年9月18日)

(作成対象期間 2020年3月19日～2020年9月18日)

受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

当ファンドは、米国企業の株式等の中からバイバック企業（自社株買いに積極的な企業）に投資することにより、値上がり益の獲得による信託財産の成長をめざしております。当作成期につきましてもそれに沿った運用を行ないました。ここに、運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management

大和アセットマネジメント株式会社
東京都千代田区丸の内一丁目9番1号
お問い合わせ先（コールセンター）
TEL 0120-106212
(営業日の9:00～17:00)
<https://www.daiwa-am.co.jp/>

<5624>
<5625>

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信/海外/株式	
信託期間	10年間（2014年3月19日～2024年3月18日）	
運用方針	信託財産の成長をめざして運用を行ないます。	
主要投資対象	ベビーファンド	ダイワ米国バイバック・マザーファンドの受益証券
	ダイワ米国バイバック・マザーファンド	米国の金融商品取引所上場および店頭登録（上場予定および店頭登録予定を含みます。）の株式および不動産投資信託証券（不動産投資信託の受益証券および不動産投資法人の投資証券をいいます。）
組入制限	ベビーファンドのマザーファンド組入上限比率	無制限
	マザーファンドの株式組入上限比率	無制限
分配方針	分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等とし、原則として、基準価額の水準等を勘案して分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行なわないことがあります。	

為替ヘッジあり

最近5期の運用実績

決算期	基準価額			S & P 500指数 (米ドルベース)		株式 組入比率	投資信託 証券 組入比率	純資産 総額
	(分配落)	税込み 分配金	期中 騰落率	(参考指数)	期中 騰落率			
	円	円	%		%	%	%	百万円
9期末(2018年9月18日)	11,377	50	2.1	15,430	5.0	100.0	—	1,057
10期末(2019年3月18日)	10,715	0	△ 5.8	15,075	△ 2.3	98.0	—	856
11期末(2019年9月18日)	10,985	0	2.5	16,054	6.5	98.4	—	797
12期末(2020年3月18日)	8,756	0	△ 20.3	13,509	△ 15.9	94.3	—	531
13期末(2020年9月18日)	10,798	200	25.6	17,930	32.7	96.3	—	619

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) S & P 500指数（米ドルベース）は、同指数の原データをもとに、当ファンド設定日を10,000として大和アセットマネジメントが計算したものです。S & P 500指数（米ドルベース）の所有権およびその他の権利は、S & P Dow Jones Indices LLC が有しています。S & P Dow Jones Indices LLC は、同指数の算出にかかる誤謬等に関し、いかなる者に対しても責任を負うものではありません。

(注3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

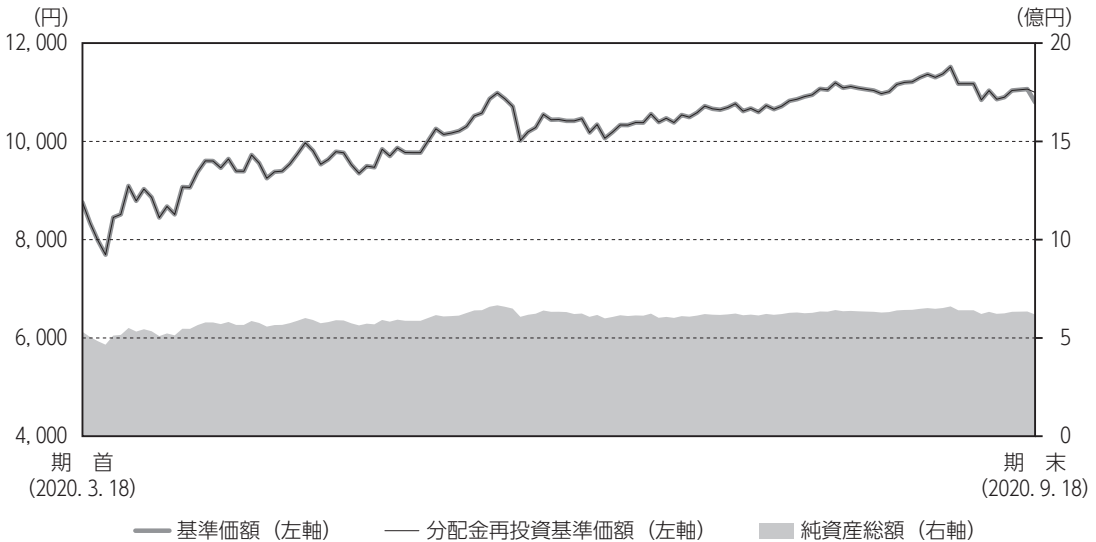
(注4) 指数値は、指数提供会社により過去に遡って修正される場合があります。上記の指数は直近で知り得るデータを使用しております。

(注5) 組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。



運用経過

基準価額等の推移について



* 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

* 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります（分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります）。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

■ 基準価額・騰落率

期首：8,756円

期末：10,798円（分配金200円）

騰落率：25.6%（分配金込み）

■ 基準価額の主な変動要因

主に米国の株式に投資した結果、景気の早期回復期待の高まりなどを背景に米国株式が上昇したことがプラス要因となり、基準価額は上昇しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

ダイワ米国バイバック・ファンド（為替ヘッジあり）

年 月 日	基 準 価 額		S & P 500指数 (米ドルベース)		株 式 組入比率	投資信託 証 券 組入比率
	円	騰 落 率 %	(参考指数)	騰 落 率 %		
(期首)2020年 3月18日	8,756	—	13,509	—	94.3	—
3月末	9,030	3.1	14,029	3.9	97.6	—
4月末	9,972	13.9	15,700	16.2	96.7	—
5月末	10,142	15.8	16,182	19.8	98.4	—
6月末	10,188	16.4	16,308	20.7	99.1	—
7月末	10,654	21.7	17,339	28.4	96.8	—
8月末	11,367	29.8	18,737	38.7	96.9	—
(期末)2020年 9月18日	10,998	25.6	17,930	32.7	96.3	—

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

投資環境について

（2020. 3. 19 ~ 2020. 9. 18）

■米国株式市況

米国株式市況は上昇しました。

米国株式市況は、当作成期首より、米国における新型コロナウイルスの感染拡大を受けて積極的な経済対策が打ち出されたことや、感染拡大ペースの減速とともに段階的に経済活動が再開したことを背景に、上昇しました。その後は、感染の再拡大懸念や米中関係の悪化が意識された場面はありましたが、経済指標の改善や企業の好決算などを受けて景気の早期回復期待が高まり、上昇が継続しました。しかし2020年9月は、追加の経済対策の議論が停滞する中で経済の先行き不透明感が再燃し、ハイテク関連銘柄を中心に下落して上げ幅を縮小しました。

前作成期末における「今後の運用方針」

■当ファンド

今後も、主として、「ダイワ米国バイバック・マザーファンド」の受益証券を通じて、米国企業の株式などの中からバイバック企業（自社株買いに積極的な企業）に投資することにより、値上がり益の獲得による信託財産の成長をめざします。また、当ファンドでは、為替変動リスクを低減するため、為替ヘッジを行います。

■ダイワ米国バイバック・マザーファンド

自社株買いの実施状況や実現可能性、キャッシュフローおよび財務内容などの観点から企業の資本配分戦略を検証するとともに、業績動向、経営方針、株価バリュエーションなどの分析を行うことによって魅力的なバイバック企業を選定していく方針です。米国株式市場においては、現在、新型コロナウイルスの感染拡大に収束の見通しが立たない状況にあり、あらゆるリスクを想定して運用していきます。一方、当ファンドが主要投資対象とする企業は潤沢なキャッシュを保有し、危機的状況下においても競争力のある企業が多いと認識しています。事態の収束が見通せるようになれば、株価調整の影響を受けて自社株買いを検討する企業も増えていくと考えています。

ポートフォリオについて

（2020. 3. 19 ~ 2020. 9. 18）

■当ファンド

主として、「ダイワ米国バイバック・マザーファンド」の受益証券を通じて、米国企業の株式などの中からバイバック企業に投資することにより、値上がり益の獲得による信託財産の成長をめざしました。また、当ファンドでは、為替変動リスクを低減するため、為替ヘッジを行いました。

■ダイワ米国バイバック・マザーファンド

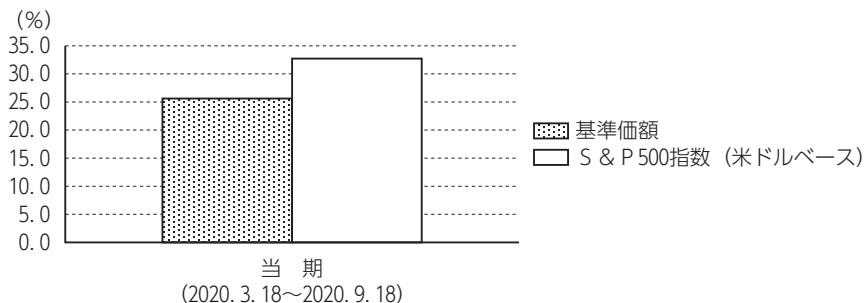
ポートフォリオは、おおむね90%以上の株式組入比率を維持しました。引き続き金融セクター、情報技術セクターの組入比率を高位に維持しました。個別銘柄では、各企業の時価総額や成長性、株価バリュエーションなどを総合的に勘案し、APPLE INC（情報技術）、JPMORGAN CHASE & CO（金融）などを引き続き組入上位としました。また、資本財・サービスセクターにおいて、決算動向に応じて利益成長力の劣る銘柄の売却や、魅力的なバリュエーションで取引されていた銘柄の買い付けなどを行うとともに、相場状況に応じてディフェンシブ性の高い銘柄の比率を増やすなど、柔軟な対応を行いました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

以下のグラフは、当ファンドの基準価額と参考指数（S & P 500指数（米ドルベース））との騰落率の対比です。

参考指数は投資対象資産の市場動向を表す代表的な指数として掲載しております。



分配金について

当作成期の1万口当り分配金（税込み）は下記「分配原資の内訳（1万口当り）」の「当期分配金（税込み）」欄をご参照ください。

収益分配金の決定根拠は下記「収益分配金の計算過程（1万口当り）」をご参照ください。
 なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

■ 分配原資の内訳（1万口当り）

項 目	当 期	
	2020年3月19日 ～2020年9月18日	
当期分配金（税込み）	（円）	200
対基準価額比率	（％）	1.82
当期の収益	（円）	88
当期の収益以外	（円）	111
翌期繰越分配対象額	（円）	1,379

- (注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。
 (注2) 円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。
 (注3) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

■ 収益分配金の計算過程（1万口当り）

項 目	当 期
(a) 経費控除後の配当等収益	✓ 88.85円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0.00
(c) 収益調整金	76.11
(d) 分配準備積立金	✓ 1,414.51
(e) 当期分配対象額 (a + b + c + d)	1,579.49
(f) 分配金	200.00
(g) 翌期繰越分配対象額 (e - f)	1,379.49

(注) ✓を付した該当項目から分配金を計上しています。



今後の運用方針

■当ファンド

今後も、主として、「ダイワ米国バイバック・マザーファンド」の受益証券を通じて、米国企業の株式などの中からバイバック企業に投資することにより、値上がり益の獲得による信託財産の成長をめざします。また、当ファンドでは、為替変動リスクを低減するため、為替ヘッジを行います。

■ダイワ米国バイバック・マザーファンド

米国株式市場においては、キャッシュフローの見通しが困難であることから、自社株買いの停止やプログラムの見直しを実施する企業が数多く出てくるとみています。情報技術やヘルスケアセクターでは多くの企業が自社株買いの維持を決定しているものの、経済が正常化するまでは積極的な株主還元による株価押し上げは見込みにくいと考えています。一方で、当ファンドの主要投資対象は、潤沢なキャッシュを保有し、危機的状況下においても競争力のある企業が多いと認識しています。引き続き、自社株買いの実施状況や実現可能性、キャッシュフローおよび財務内容などの観点から企業の資本配分戦略を検証しつつ、業績動向、経営方針、株価バリュエーションなどの分析を行うことによって魅力的なバイバック企業を選定していく方針です。

1万口当りの費用の明細

項 目	当 期 (2020. 3. 19～2020. 9. 18)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	93円	0.915%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 当作成期中の平均基準価額は10,213円です。
(投 信 会 社)	(45)	(0.444)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託会社への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
(販 売 会 社)	(45)	(0.444)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 会 社)	(3)	(0.028)	受託会社分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売 買 委 託 手 数 料	6	0.054	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(株 式)	(6)	(0.054)	
有 価 証 券 取 引 税	0	0.001	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(株 式)	(0)	(0.001)	
そ の 他 費 用	2	0.017	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
(保 管 費 用)	(1)	(0.014)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
(監 査 費 用)	(0)	(0.003)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(そ の 他)	(0)	(0.001)	信託事務の処理等に関するその他の費用
合 計	101	0.987	

(注1) 当作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

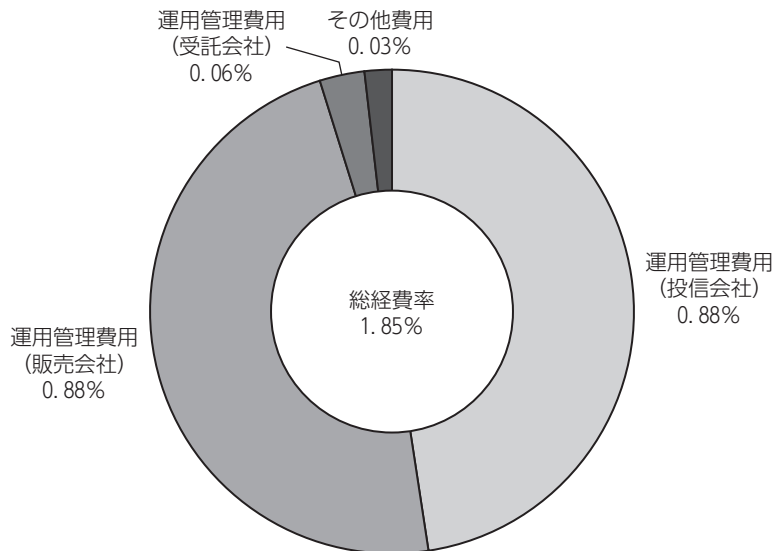
(注3) 各比率は1万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第3位未満を四捨五入してあります。

(注4) 組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

参考情報

■ 総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を、期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当り）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.85%です。



(注1) 1万口当りの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

■売買および取引の状況

親投資信託受益証券の設定・解約状況

(2020年3月19日から2020年9月18日まで)

	設 定		解 約	
	□ 数	金 額	□ 数	金 額
	千□	千円	千□	千円
ダイワ米国バイバック・マザーファンド	17,516	21,000	45,543	61,000

(注) 単位未満は切捨て。

■株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

(2020年3月19日から2020年9月18日まで)

項 目	当 期
	ダイワ米国バイバック・マザーファンド
(a) 期中の株式売買金額	2,587,370千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額	3,088,617千円
(c) 売買高比率 (a) / (b)	0.83

(注1) (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

(注2) 単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況等

当作成期中における利害関係人との取引はありません。

■組入資産明細表

親投資信託残高

種 類	期 首	当 期 末	
	□ 数	□ 数	評 価 額
	千□	千□	千円
ダイワ米国バイバック・マザーファンド	454,159	426,132	608,347

(注) 単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2020年9月18日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
ダイワ米国バイバック・マザーファンド	608,347	95.6
コール・ローン等、その他	27,855	4.4
投資信託財産総額	636,202	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨て。

(注2) 外貨建資産は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。なお、9月18日における邦貨換算レートは、1アメリカ・ドル＝104.84円です。

(注3) ダイワ米国バイバック・マザーファンドにおいて、当期末における外貨建純資産(3,029,534千円)の投資信託財産総額(3,158,811千円)に対する比率は、95.9%です。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2020年9月18日現在

項 目	当 期 末
(A) 資産	1,245,184,054円
コール・ローン等	8,766,095
ダイワ米国バイバック・マザーファンド(評価額)	608,347,006
未収入金	628,070,953
(B) 負債	625,971,009
未払金	608,981,360
未払収益分配金	11,468,889
未払信託報酬	5,504,152
その他未払費用	16,608
(C) 純資産総額(A-B)	619,213,045
元本	573,444,450
次期繰越損益金	45,768,595
(D) 受益権総口数	573,444,450口
1万口当り基準価額(C/D)	10,798円

* 期首における元本額は606,473,928円、当作成期間中における追加設定元本額は8,479,420円、同解約元本額は41,508,898円です。

* 当期末の計算口数当りの純資産額は10,798円です。

ダイワ米国バイバック・ファンド（為替ヘッジあり）

■損益の状況

当期 自 2020年 3月19日 至 2020年 9月18日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	△ 1,109円
受取利息	74
支払利息	△ 1,183
(B) 有価証券売買損益	132,971,659
売買益	153,156,213
売買損	△ 20,184,554
(C) 信託報酬等	△ 5,526,723
(D) 当期繰越損益金 (A + B + C)	127,443,827
(E) 前期繰越損益金	△ 70,909,930
(F) 追加信託差損益金	703,587
(配当等相当額)	(4,364,624)
(売買損益相当額)	(△ 3,661,037)
(G) 合計 (D + E + F)	57,237,484
(H) 収益分配金	△ 11,468,889
次期繰越損益金 (G + H)	45,768,595
追加信託差損益金	703,587
(配当等相当額)	(4,364,624)
(売買損益相当額)	(△ 3,661,037)
分配準備積立金	74,741,531
繰越損益金	△ 29,676,523

- (注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しておりません。
- (注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。
- (注3) 収益分配金の計算過程は下記「収益分配金の計算過程（総額）」をご参照ください。

■収益分配金の計算過程（総額）

項 目	当 期
(a) 経費控除後の配当等収益	5,095,568円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0
(c) 収益調整金	4,364,624
(d) 分配準備積立金	81,114,852
(e) 当期分配対象額 (a + b + c + d)	90,575,044
(f) 分配金	11,468,889
(g) 翌期繰越分配対象額 (e - f)	79,106,155
(h) 受益権総口数	573,444,450口

収 益 分 配 金 の お 知 ら せ

1 万 口 当 り 分 配 金

200円

- 〈分配金再投資コース〉をご利用の方の税引き分配金は、決算日現在の基準価額に基づいて自動的に再投資いたしました。

- ・分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」があります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または個別元本を上回る場合には、分配金の全額が普通分配金となります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）、残りの額が普通分配金です。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時における個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。

為替ヘッジなし

最近5期の運用実績

決算期	基準価額			S & P 500指数 (円換算)		株式 組入比率	投資信託 証券 組入比率	純資産 総額
	(分配落)	税込み 分配金	期中 騰落率	(参考指数)	期中 騰落率			
	円	円	%		%	%	%	百万円
9期末(2018年9月18日)	11,883	200	8.9	17,012	10.8	99.3	—	4,500
10期末(2019年3月18日)	11,300	0	△ 4.9	16,584	△ 2.5	99.2	—	3,591
11期末(2019年9月18日)	11,369	0	0.6	17,127	3.3	99.0	—	3,202
12期末(2020年3月18日)	9,010	0	△ 20.7	14,303	△ 16.5	95.2	—	2,238
13期末(2020年9月18日)	10,843	250	23.1	18,533	29.6	97.1	—	2,479

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) S & P 500指数(円換算)は、S & P 500指数(米ドルベース)をもとに円換算し、当ファンド設定日を10,000として大和アセットマネジメントが計算したものです。S & P 500指数(米ドルベース)の所有権およびその他一切の権利は、S & P Dow Jones Indices LLCが有しています。S & P Dow Jones Indices LLCは、同指数の算出にかかる誤謬等に関し、いかなる者に対しても責任を負うものではありません。

(注3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

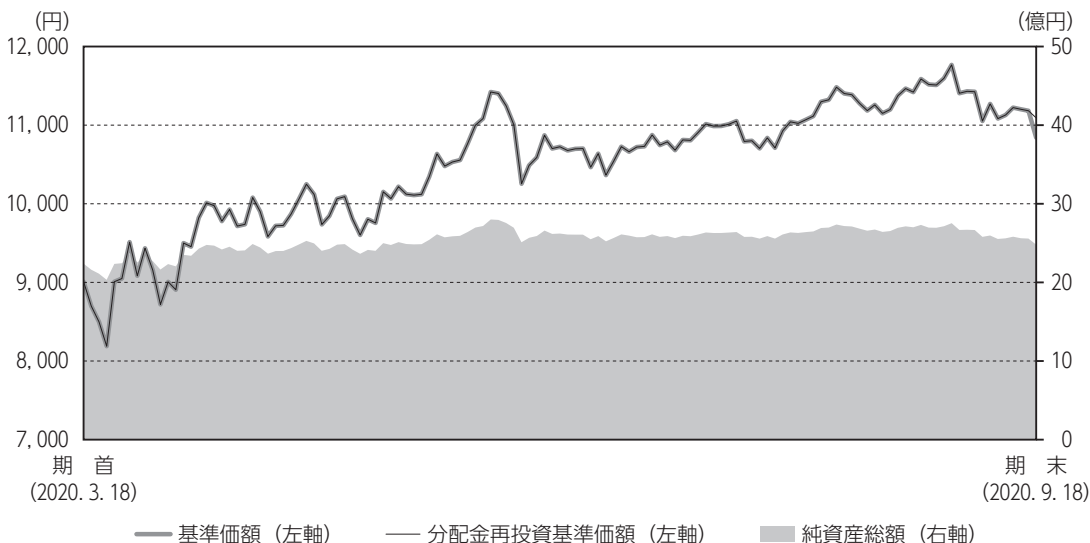
(注4) 指数値は、指数提供会社により過去に遡って修正される場合があります。上記の指数は直近で知り得るデータを使用しております。

(注5) 組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。



運用経過

基準価額等の推移について



* 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

* 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります（分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります）。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

■ 基準価額・騰落率

期首：9,010円

期末：10,843円（分配金250円）

騰落率：23.1%（分配金込み）

■ 基準価額の主な変動要因

主に米国の株式に投資した結果、景気の早期回復期待の高まりなどを背景に米国株式が上昇したことがプラス要因となり、基準価額は上昇しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

ダイワ米国バイバック・ファンド (為替ヘッジなし)

年 月 日	基 準 価 額		S & P 500指数 (円換算)		株 式 組入比率	投資信託 証 券 組入比率
	円	騰 落 率 %	(参考指数)	騰 落 率 %		
(期首)2020年 3月18日	9,010	—	14,303	—	95.2	—
3月末	9,435	4.7	15,053	5.2	97.2	—
4月末	10,249	13.8	16,542	15.7	97.8	—
5月末	10,480	16.3	17,155	19.9	98.5	—
6月末	10,540	17.0	17,322	21.1	98.5	—
7月末	10,711	18.9	17,880	25.0	98.9	—
8月末	11,518	27.8	19,463	36.1	98.1	—
(期末)2020年 9月18日	11,093	23.1	18,533	29.6	97.1	—

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

投資環境について

（2020. 3. 19 ~ 2020. 9. 18）

■米国株式市況

米国株式市況は上昇しました。

米国株式市況は、当作成期首より、米国における新型コロナウイルスの感染拡大を受けて積極的な経済対策が打ち出されたことや、感染拡大ペースの減速とともに段階的に経済活動が再開したことを背景に、上昇しました。その後は、感染の再拡大懸念や米中関係の悪化が意識された場面はありましたが、経済指標の改善や企業の好決算などを受けて景気の早期回復期待が高まり、上昇が継続しました。しかし2020年9月は、追加の経済対策の議論が停滞する中で経済の先行き不透明感が再燃し、ハイテク関連銘柄を中心に下落して上げ幅を縮小しました。

■為替相場

米ドルは対円で下落（円高）しました。

当作成期首から2020年3月下旬にかけて、新型コロナウイルスの世界的な感染拡大を受けた市場の混乱と、F R B（米国連邦準備制度理事会）を中心とした当局の対応を受けて、米ドル円は乱高下しました。その後は、感染拡大状況を見ながら景気回復への期待と実体経済に対する懸念が交錯し、一進一退の展開となりました。7月下旬以降は、米中対立の再燃や景気回復の遅れへの懸念および追加経済対策の議論が停滞していることなどが意識され、円高米ドル安基調で推移しました。

前作成期末における「今後の運用方針」

■当ファンド

今後も、主として、「ダイワ米国バイバック・マザーファンド」の受益証券を通じて、米国企業の株式などの中からバイバック企業（自社株買いに積極的な企業）に投資することにより、値上がり益の獲得による信託財産の成長をめざします。

■ダイワ米国バイバック・マザーファンド

自社株買いの実施状況や実現可能性、キャッシュフローおよび財務内容などの観点から企業の資本配分戦略を検証するとともに、業績動向、経営方針、株価バリュエーションなどの分析を行うことによって魅力的なバイバック企業を選定していく方針です。米国株式市場においては、現在、新型コロナウイルスの感染拡大に収束の見通しが立たない状況にあり、あらゆるリスクを想定して運用していきます。一方、当ファンドが主要投資対象とする企業は潤沢なキャッシュを保有し、危機的状況下においても競争力のある企業が多いと認識しています。事態の収束が見通せるようになれば、株価調整の影響を受けて自社株買いを検討する企業も増えていくと考えています。

ポートフォリオについて

（2020. 3. 19 ~ 2020. 9. 18）

■当ファンド

主として、「ダイワ米国バイバック・マザーファンド」の受益証券を通じて、米国企業の株式などの中からバイバック企業に投資することにより、値上がり益の獲得による信託財産の成長をめざしました。

■ダイワ米国バイバック・マザーファンド

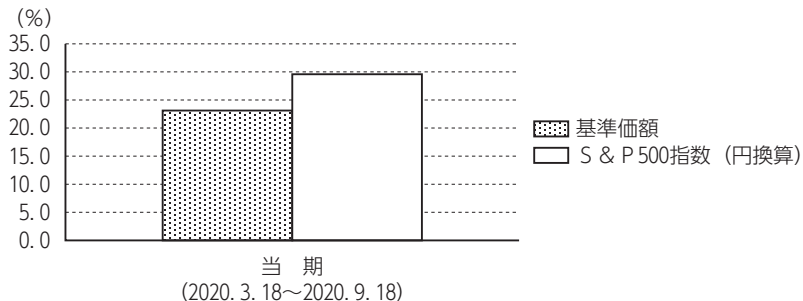
ポートフォリオは、おおむね90%以上の株式組入比率を維持しました。引き続き金融セクター、情報技術セクターの組入比率を高位に維持しました。個別銘柄では、各企業の時価総額や成長性、株価バリュエーションなどを総合的に勘案し、APPLE INC（情報技術）、JPMORGAN CHASE & CO（金融）などを引き続き組入上位としました。また、資本財・サービスセクターにおいて、決算動向に応じて利益成長力の劣る銘柄の売却や、魅力的なバリュエーションで取引されていた銘柄の買い付けなどを行うとともに、相場状況に応じてディフェンシブ性の高い銘柄の比率を増やすなど、柔軟な対応を行いました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

以下のグラフは、当ファンドの基準価額と参考指数（S & P 500指数（円換算））との騰落率の対比です。

参考指数は投資対象資産の市場動向を表す代表的な指数として掲載しております。



分配金について

当作成期の1万口当り分配金（税込み）は下記「分配原資の内訳（1万口当り）」の「当期分配金（税込み）」欄をご参照ください。

収益分配金の決定根拠は下記「収益分配金の計算過程（1万口当り）」をご参照ください。

なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

■ 分配原資の内訳（1万口当り）

項 目	当 期	
	2020年3月19日 ～2020年9月18日	
当期分配金（税込み）	（円）	250
対基準価額比率	（％）	2.25
当期の収益	（円）	90
当期の収益以外	（円）	159
翌期繰越分配対象額	（円）	1,870

（注1）「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

（注2）円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。

（注3）当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

■ 収益分配金の計算過程（1万口当り）

項 目	当 期
(a) 経費控除後の配当等収益	✓ 90.93円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0.00
(c) 収益調整金	352.41
(d) 分配準備積立金	✓ 1,676.97
(e) 当期分配対象額 (a + b + c + d)	2,120.32
(f) 分配金	250.00
(g) 翌期繰越分配対象額 (e - f)	1,870.32

（注）✓を付した該当項目から分配金を計上しています。



今後の運用方針

■当ファンド

今後も、主として、「ダイワ米国バイバック・マザーファンド」の受益証券を通じて、米国企業の株式などの中からバイバック企業に投資することにより、値上がり益の獲得による信託財産の成長をめざします。

■ダイワ米国バイバック・マザーファンド

米国株式市場においては、キャッシュフローの見通しが困難であることから、自社株買いの停止やプログラムの見直しを実施する企業が数多く出てくるとみています。情報技術やヘルスケアセクターでは多くの企業が自社株買いの維持を決定しているものの、経済が正常化するまでは積極的な株主還元による株価押し上げは見込みにくいと考えています。一方で、当ファンドの主要投資対象は、潤沢なキャッシュを保有し、危機的状況下においても競争力のある企業が多いと認識しています。引き続き、自社株買いの実施状況や実現可能性、キャッシュフローおよび財務内容などの観点から企業の資本配分戦略を検証しつつ、業績動向、経営方針、株価バリュエーションなどの分析を行うことによって魅力的なバイバック企業を選定していく方針です。

1万口当りの費用の明細

項 目	当 期 (2020. 3. 19~2020. 9. 18)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	96円	0.915%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 当作成期中の平均基準価額は10,510円です。
(投 信 会 社)	(47)	(0.444)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託会社への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
(販 売 会 社)	(47)	(0.444)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 会 社)	(3)	(0.028)	受託会社分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売 買 委 託 手 数 料	6	0.054	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(株 式)	(6)	(0.054)	
有 価 証 券 取 引 税	0	0.001	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(株 式)	(0)	(0.001)	
そ の 他 費 用	2	0.016	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
(保 管 費 用)	(1)	(0.014)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
(監 査 費 用)	(0)	(0.003)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(そ の 他)	(0)	(0.000)	信託事務の処理等に関するその他の費用
合 計	104	0.986	

(注1) 当作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

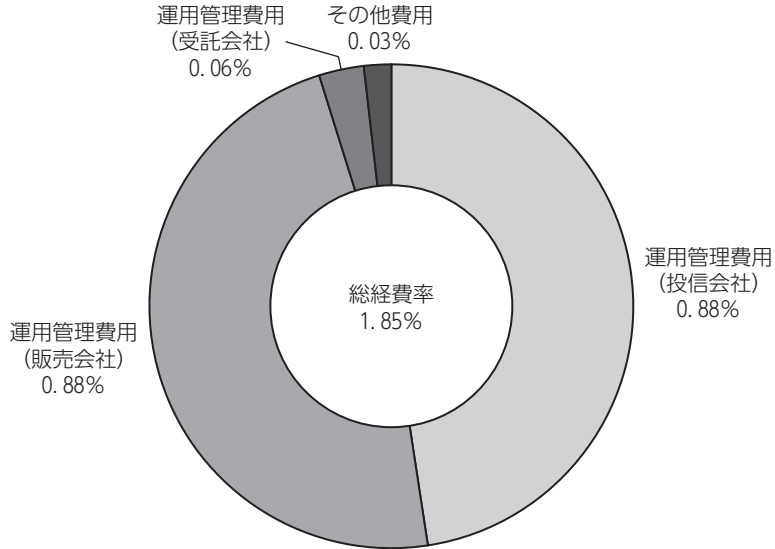
(注3) 各比率は1万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第3位未満を四捨五入してあります。

(注4) 組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

参考情報

■ 総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を、期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当り）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.85%です。



(注1) 1万口当りの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

ダイワ米国バイバック・ファンド（為替ヘッジなし）

■売買および取引の状況

親投資信託受益証券の設定・解約状況

（2020年3月19日から2020年9月18日まで）

項目	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
	千口	千円	千口	千円
ダイワ米国バイバック・マザーファンド	14,316	16,000	226,401	317,000

（注）単位未満は切捨て。

■株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

（2020年3月19日から2020年9月18日まで）

項 目	当 期
	ダイワ米国バイバック・マザーファンド
(a) 期中の株式売買金額	2,587,370千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額	3,088,617千円
(c) 売買高比率 (a) / (b)	0.83

（注1）(b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

（注2）単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況等

当作成期中における利害関係人との取引はありません。

■組入資産明細表

親投資信託残高

種 類	期 首			当 期 末		
	口 数	金 額	口 数	金 額	口 数	金 額
	千口	千円	千口	千円	千口	千円
ダイワ米国バイバック・マザーファンド	1,933,414	1,721,330	2,457,371			

（注）単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2020年9月18日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
ダイワ米国バイバック・マザーファンド	2,457,371	96.0
コール・ローン等、その他	102,971	4.0
投資信託財産総額	2,560,342	100.0

（注1）評価額の単位未満は切捨て。

（注2）外貨建資産は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。なお、9月18日における邦貨換算レートは、1アメリカ・ドル＝104.84円です。

（注3）ダイワ米国バイバック・マザーファンドにおいて、当期末における外貨建純資産（3,029,534千円）の投資信託財産総額（3,158,811千円）に対する比率は、95.9%です。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2020年9月18日現在

項 目	当 期 末
(A) 資産	2,560,342,582円
コール・ローン等	21,971,309
ダイワ米国バイバック・マザーファンド（評価額）	2,457,371,273
未収入金	81,000,000
(B) 負債	80,449,540
未払収益分配金	57,179,773
未払信託報酬	23,199,449
その他未払費用	70,318
(C) 純資産総額（A－B）	2,479,893,042
元本	2,287,190,926
次期繰越損益金	192,702,116
(D) 受益権総口数	2,287,190,926口
1万口当り基準価額（C/D）	10,843円

* 期首における元本額は2,484,955,927円、当作成期間中における追加設定元本額は3,463,688円、同解約元本額は201,228,689円です。

* 当期末の計算口数当りの純資産額は10,843円です。

■損益の状況

当期 自 2020年 3月19日 至 2020年 9月18日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	△ 2,553円
受取利息	155
支払利息	△ 2,708
(B) 有価証券売買損益	499,612,211
売買益	535,931,632
売買損	△ 36,319,421
(C) 信託報酬等	△ 23,269,791
(D) 当期繰越損益金 (A + B + C)	476,339,867
(E) 前期繰越損益金	△ 272,287,458
(F) 追加信託差損益金	45,829,480
(配当等相当額)	(80,604,581)
(売買損益相当額)	(△ 34,775,101)
(G) 合計 (D + E + F)	249,881,889
(H) 収益分配金	△ 57,179,773
次期繰越損益金 (G + H)	192,702,116
追加信託差損益金	45,829,480
(配当等相当額)	(80,604,581)
(売買損益相当額)	(△ 34,775,101)
分配準備積立金	347,174,992
繰越損益金	△ 200,302,356

- (注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しておりません。
- (注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。
- (注3) 収益分配金の計算過程は下記「収益分配金の計算過程（総額）」をご参照ください。

■収益分配金の計算過程（総額）

項 目	当 期
(a) 経費控除後の配当等収益	20,797,662円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0
(c) 収益調整金	80,604,581
(d) 分配準備積立金	383,557,103
(e) 当期分配対象額 (a + b + c + d)	484,959,346
(f) 分配金	57,179,773
(g) 翌期繰越分配対象額 (e - f)	427,779,573
(h) 受益権総口数	2,287,190,926口

収 益 分 配 金 の お 知 ら せ

1 万 口 当 り 分 配 金

250円

- 〈分配金再投資コース〉をご利用の方の税引き分配金は、決算日現在の基準価額に基づいて自動的に再投資いたしました。

- ・分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」があります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または個別元本を上回る場合には、分配金の全額が普通分配金となります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）、残りの額が普通分配金です。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時における個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。

ダイワ米国バイバック・マザーファンド

運用報告書 第13期 (決算日 2020年9月18日)

(作成対象期間 2020年3月19日～2020年9月18日)

ダイワ米国バイバック・マザーファンドの運用状況をご報告申し上げます。

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

運用方針	信託財産の成長をめざして運用を行ないます。
主要投資対象	米国の金融商品取引所上場および店頭登録（上場予定および店頭登録予定を含みます。）の株式および不動産投資信託証券（不動産投資信託の受益証券および不動産投資法人の投資証券をいいます。）
株式組入制限	無制限

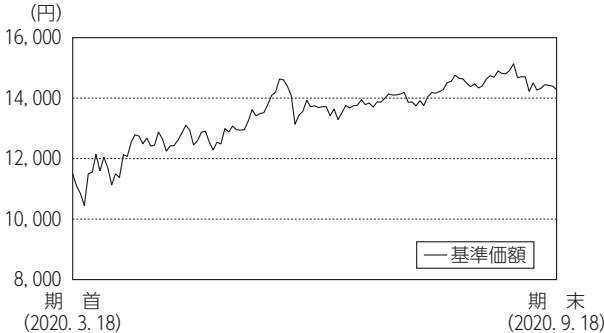
大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management

大和アセットマネジメント株式会社
東京都千代田区丸の内一丁目9番1号
<https://www.daiwa-am.co.jp/>

■当作成期中の基準価額と市況等の推移

《運用経過》



年 月 日	基 準 価 額		S & P 500指数 (円換算)		株 式 組 入 比 率	投資信託 証 券 組 入 比 率
	円	%	(参考指数)	%		
(期首) 2020年 3月18日	11,497	—	14,303	—	95.9	—
3月末	12,043	4.7	15,053	5.2	97.2	—
4月末	13,102	14.0	16,542	15.7	97.8	—
5月末	13,417	16.7	17,155	19.9	98.6	—
6月末	13,515	17.6	17,322	21.1	98.5	—
7月末	13,755	19.6	17,880	25.0	98.9	—
8月末	14,815	28.9	19,463	36.1	98.1	—
(期末) 2020年 9月18日	14,276	24.2	18,533	29.6	98.0	—

- (注1) 騰落率は期首比。
- (注2) S & P 500指数 (円換算) は、S & P 500指数 (米ドルベース) をもとに円換算し、当ファンド設定日を10,000として大和アセットマネジメントが計算したものです。S & P 500指数 (米ドルベース) の所有権およびその他一切の権利は、S & P Dow Jones Indices LLC が有しています。S & P Dow Jones Indices LLC は、同指数の算出にかかる誤謬等に関し、いかなる者に対しても責任を負うものではありません。
- (注3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現日前営業日の終値を採用しています。
- (注4) 指数値は、指数提供会社により過去に遡って修正される場合があります。上記の指数は直近で知り得るデータを使用しております。

◆基準価額等の推移について

【基準価額・騰落率】

期首：11,497円 期末：14,276円 騰落率：24.2%

【基準価額の主な変動要因】

主に米国の株式に投資した結果、景気の早期回復期待の高まりなどを背景に米国株式が上昇したことがプラス要因となり、基準価額は上昇しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

◆投資環境について

○米国株式市況

米国株式市況は上昇しました。

米国株式市況は、当作成期首より、米国における新型コロナウイルスの感染拡大を受けて積極的な経済対策が打ち出されたことや、感染拡大ペースの減速とともに段階的に経済活動が再開したことを背景に、上昇しました。その後は、感染の再拡大懸念や米中関係の悪化が意識された場面はありましたが、経済指標の改善や企業的好決算などを受けて景気の早期回復期待が高まり、上昇が継続しました。しかし2020年9月は、追加の経済対策の議論が停滞する中で経済の先行き不透明感が再燃し、ハイテク関連銘柄を中心に下落して上げ幅を縮小しました。

○為替相場

米ドルは対円で下落 (円高) しました。

当作成期首から2020年3月下旬にかけて、新型コロナウイルスの世界的な感染拡大を受けた市場の混乱と、F R B (米連邦準備制度理事会) を中心とした当局の対応を受けて、米ドル円は乱高下しました。その後は、感染拡大状況を見ながら景気回復への期待と实体经济に対する懸念が交錯し、一進一退の展開となりました。7月下旬以降は、米中対立の再燃や景気回復の遅れへの懸念および追加経済対策の議論が停滞していることなどが意識され、円高米ドル安基調で推移しました。

◆前作成期末における「今後の運用方針」

自社株買いの実施状況や実現可能性、キャッシュフローおよび財務内容などの観点から企業の資本配分戦略を検証するとともに、業績動向、経営方針、株価バリュエーションなどの分析を行うことによって魅力的なバイバック企業 (自社株買いに積極的な企業) を選定していく方針です。米国株式市場においては、現在、新型コロナウイルスの感染拡大に収束の見通しが立たない状況にあり、あらゆるリスクを想定して運用していきます。一方、当ファンドが主要投資対象とする企業は潤沢なキャッシュを保有し、危機的状況下においても競争力のある企業が多いと認識しています。事態の収束が見通せるようになれば、株価調整の影響を受けて自社株買いを検討する企業も増えていくと考えています。

◆ポートフォリオについて

ポートフォリオは、おおむね90%以上の株式組入比率を維持しました。引き続き金融セクター、情報技術セクターの組入比率を高位に維持しました。個別銘柄では、各企業の時価総額や成長性、株価バリュエーションなどを総合的に勘案し、APPLE INC (情報技術)、JPMORGAN CHASE & CO (金融) などを引き続き組入上位としました。また、資本財・サービスセクターにおいて、決算動向に応じて利益成長力の劣る銘柄の売却や、魅力的なバリュエーションで取引されていた銘柄の買い付けなどを行うとともに、相場状況に応じてディフェンシブ性の高い銘柄の比率を増やすなど、柔軟な対応を行いました。

◆ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

当作成期の当ファンドの基準価額と参考指数の騰落率は、「当作成

ダイワ米国バイバック・マザーファンド

期中の基準価額と市況等の推移」をご参照ください。

参考指数は投資対象資産の市場動向を表す代表的な指数として掲載しております。

《今後の運用方針》

米国株式市場においては、キャッシュフローの見通しが困難であることから、自社株買いの停止やプログラムの見直しを実施する企業が多く出てくるとみえています。情報技術やヘルスケアセクターでは多くの企業が自社株買いの維持を決定しているものの、経済が正常化するまでは積極的な株主還元による株価押し上げは見込みにくいと考えています。一方で、当ファンドの主要投資対象は、潤沢なキャッシュを保有し、危機的状況下においても競争力のある企業が多いと認識しています。引き続き、自社株買いの実施状況や実現可能性、キャッシュフローおよび財務内容などの観点から企業の資本配分戦略を検証しつつ、業績動向、経営方針、株価バリュエーションなどの分析を行うことによって魅力的なバイバック企業を選定していく方針です。

■ 1万口当りの費用の明細

項 目	当 期
売買委託手数料 (株式)	7円 (7)
有価証券取引税 (株式)	0 (0)
その他費用 (保管費用) (その他)	2 (2) (0)
合 計	9

(注1) 費用の項目および算出法については前掲の「1万口当りの費用の明細」の項目の概要をご参照ください。

(注2) 項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

■ 売買および取引の状況

株 式

(2020年3月19日から2020年9月18日まで)

	買 付		売 付	
	株 数	金 額	株 数	金 額
外 国	百株	千アメリカ・ドル	百株	千アメリカ・ドル
アメリカ	1,270 (138)	10,837 (△ 2)	2,092.5	13,330

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) ()内は株式分割、合併等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

(注3) 金額の単位未満は切捨て。

■ 主要な売買銘柄

株 式

(2020年3月19日から2020年9月18日まで)

買 柄	当 期			買 柄	当 期		
	株 数	金 額	平均単価		株 数	金 額	平均単価
UNION PACIFIC CORP (アメリカ)	千株 7.6	千円 125,993	円 16,578	NORFOLK SOUTHERN CORP (アメリカ)	千株 4.7	千円 85,990	円 18,295
INTERCONTINENTAL EXCHANGE IN (アメリカ)	7.1	73,249	10,316	ORACLE CORP (アメリカ)	13.4	80,041	5,973
MORGAN STANLEY (アメリカ)	13.6	71,644	5,268	UNION PACIFIC CORP (アメリカ)	5	72,260	14,452
BOOKING HOLDINGS INC (アメリカ)	0.5	70,307	140,615	ICF INTERNATIONAL INC (アメリカ)	9.3	61,447	6,607
ILLINOIS TOOL WORKS (アメリカ)	3.4	60,771	17,874	ELI LILLY & CO (アメリカ)	3.6	57,084	15,856
LAM RESEARCH CORP (アメリカ)	1.5	59,179	39,453	CATERPILLAR INC (アメリカ)	4.5	55,495	12,332
DELTA AIR LINES INC (アメリカ)	16.8	54,997	3,273	APPLE INC (アメリカ)	1.3	53,494	41,149
ELI LILLY & CO (アメリカ)	3.5	54,357	15,530	ABBVIE INC (アメリカ)	6.7	51,752	7,724
ACTIVISION BLIZZARD INC (アメリカ)	8.2	52,355	6,384	BANK OF AMERICA CORP (アメリカ)	18.3	45,292	2,475
CATERPILLAR INC (アメリカ)	4.5	49,279	10,950	NVIDIA CORP (アメリカ)	1	45,242	45,242

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) 金額の単位未満は切捨て。

■組入資産明細表
外国株式

銘柄	期首		当期		期末		業種等
	株数	百株	株数	百株	評価	価額	
					外貨建金額	邦貨換算金額	
				千アメリカ・ドル	千円		
(アメリカ)		百株		百株			
ABBOTT LABORATORIES	64		41		437	45,847	ヘルスケア
DEVON ENERGY CORP	215		—		—	—	エネルギー
CITIGROUP INC	133		151		687	72,077	金融
DANAHER CORP	—		15		310	32,576	ヘルスケア
INTERCONTINENTAL EXCHANGE IN	55		71		709	74,406	金融
HUNTSMAN CORP	81		138		331	34,751	素材
APPLE INC	49		184		2,030	212,852	情報技術
BANK OF NEW YORK MELLON CORP	196		171		608	63,750	金融
JPMORGAN CHASE & CO	143		161		1,586	166,361	金融
DOLLAR GENERAL CORP	29		16		325	34,135	一般消費財・サービス
DELTA AIR LINES INC	—		132		448	46,996	資本財・サービス
CISCO SYSTEMS INC	254		229		924	96,921	情報技術
MORGAN STANLEY	—		136		683	71,647	金融
FEDERATED HERMES INC	95		95		213	22,369	金融
ALLISON TRANSMISSION HOLDING	32		62		211	22,139	資本財・サービス
XPO LOGISTICS INC	—		32		289	30,307	資本財・サービス
RELIANCE STEEL & ALUMINUM	15		15		161	16,902	素材
PGT INNOVATIONS INC	227		—		—	—	資本財・サービス
ACTIVISION BLIZZARD INC	—		43		338	35,510	コミュニケーション・サービス
CABOT OIL & GAS CORP	123		123		238	25,029	エネルギー
AMAZON.COM INC	2.3		1.8		541	56,778	一般消費財・サービス
FISERV INC	57		48		498	52,235	情報技術
GOLDMAN SACHS GROUP INC	15		29		565	59,235	金融
HP INC	163		118		225	23,678	情報技術
INTL BUSINESS MACHINES CORP	26		—		—	—	情報技術
ICF INTERNATIONAL INC	93		—		—	—	資本財・サービス
ABBVIE INC	67		—		—	—	ヘルスケア
LGI HOMES INC	38		—		—	—	一般消費財・サービス
ELI LILLY & CO	89		88		1,341	140,667	ヘルスケア
LAM RESEARCH CORP	—		8		244	25,655	情報技術
DUPONT DE NEMOURS INC	35		—		—	—	素材
MASCO CORP	29		29		166	17,497	資本財・サービス
M & T BANK CORP	31		31		317	33,286	金融
NORFOLK SOUTHERN CORP	47		—		—	—	資本財・サービス
ALLY FINANCIAL INC	53		53		138	14,496	金融
MCKESSON CORP	21		15		227	23,824	ヘルスケア
EVERGY INC	33		27		140	14,776	公益事業
O'REILLY AUTOMOTIVE INC	9		7		327	34,300	一般消費財・サービス
ALTICE USA INC- A	143		143		380	39,924	コミュニケーション・サービス
QUALCOMM INC	94		87		999	104,782	情報技術
BOOKING HOLDINGS INC	—		4		714	74,948	一般消費財・サービス
CHARTER COMMUNICATIONS INC-A	19		17		1,054	110,556	コミュニケーション・サービス

ダイワ米国バイバック・マザーファンド

銘柄	株数	株数	期末		業種等
			評価額		
			外貨建金額	邦貨換算金額	
TRAVELERS COS INC/THE	—	27	304	31,873	金融
UNION PACIFIC CORP	40	66	1,330	139,530	資本財・サービス
MARATHON PETROLEUM CORP	109	64	205	21,551	エネルギー
WELLS FARGO & CO	289	251	630	66,076	金融
TJX COMPANIES INC	47	—	—	—	一般消費財・サービス
WALGREENS BOOTS ALLIANCE INC	63	—	—	—	生活必需品
NVIDIA CORP	14	4	199	20,906	情報技術
THERMO FISHER SCIENTIFIC INC	—	8	346	36,310	ヘルスケア
ORACLE CORP	241	107	643	67,509	情報技術
BANK OF AMERICA CORP	577	440	1,115	116,938	金融
AMGEN INC	46	49	1,215	127,442	ヘルスケア
APPLIED MATERIALS INC	71	57	321	33,668	情報技術
CME GROUP INC	29	24	409	42,953	金融
ECOLAB INC	15	15	311	32,631	素材
SCHWAB (CHARLES) CORP	141	141	504	52,935	金融
INTEL CORP	—	25	125	13,188	情報技術
ILLINOIS TOOL WORKS	—	29	582	61,092	資本財・サービス
JACOBS ENGINEERING GROUP INC	13	13	122	12,863	資本財・サービス
CINTAS CORP	11	—	—	—	資本財・サービス
MICROSOFT CORP	54	62	1,258	131,893	情報技術
CHUBB LTD	30	—	—	—	金融
BIOGEN INC	15	15	413	43,304	ヘルスケア
INTUIT INC	7	—	—	—	情報技術
BEST BUY CO INC	33	18	190	19,933	一般消費財・サービス
ファンド合計	株数、金額 銘柄数<比率>	4,620.3 55銘柄	3,935.8 53銘柄	28,651 3,003,837	<98.0%>

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。

(注2) < >内は純資産総額に対する評価額の比率。

(注3) 評価額の単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2020年9月18日現在

項目	当期末	
	評価額	比率
株式	3,003,837	95.1
コール・ローン等、その他	154,974	4.9
投資信託財産総額	3,158,811	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨て。

(注2) 外貨建資産は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。なお、9月18日における邦貨換算レートは、1アメリカ・ドル＝104.84円です。

(注3) 当期末における外貨建純資産(3,029,534千円)の投資信託財産総額(3,158,811千円)に対する比率は、95.9%です。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2020年9月18日現在

項 目	当 期 末
(A) 資産	3,158,811,672円
コール・ローン等	150,898,646
株式（評価額）	3,003,837,455
未収配当金	4,075,571
(B) 負債	93,000,215
未払解約金	93,000,000
その他未払費用	215
(C) 純資産総額（A－B）	3,065,811,457
元本	2,147,463,071
次期繰越損益金	918,348,386
(D) 受益権総口数	2,147,463,071口
1万口当り基準価額（C／D）	14,276円

*期首における元本額は2,387,574,659円、当作成期間中における追加設定元本額は31,833,013円、同解約元本額は271,944,601円です。

*当期末における当マザーファンドを投資対象とする投資信託の元本額は、ダイワ米国バイバック・ファンド（為替ヘッジあり）426,132,675円、ダイワ米国バイバック・ファンド（為替ヘッジなし）1,721,330,396円です。

*当期末の計算口数当りの純資産額は14,276円です。

■損益の状況

当期 自 2020年3月19日 至 2020年9月18日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	28,061,846円
受取配当金	28,066,697
受取利息	61
支払利息	△ 4,912
(B) 有価証券売買損益	634,084,586
売買益	763,129,433
売買損	△ 129,044,847
(C) その他費用	△ 430,492
(D) 当期損益金（A＋B＋C）	661,715,940
(E) 前期繰越損益金	357,520,858
(F) 解約差損益金	△ 106,055,399
(G) 追加信託差損益金	5,166,987
(H) 合計（D＋E＋F＋G）	918,348,386
次期繰越損益金（H）	918,348,386

(注1) 解約差損益金とは、一部解約時の解約価額と元本との差額をいい、元本を下回る場合は利益として、上回る場合は損失として処理されます。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。